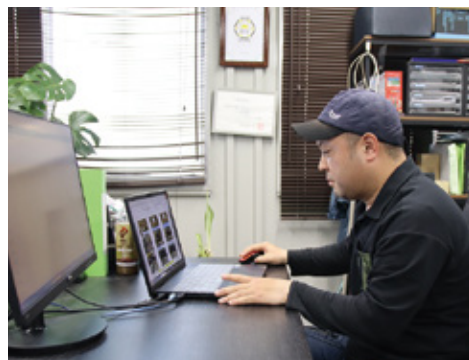


# ちょっと拝見！ MOKA の職場



同僚と打合せをする様子



事務所で作業をする様子



息子と一緒に

株式会社 雄  
穀物事業部  
まつもと こうき  
松本 光希さん（36 歳）

知識や技術を身につけ  
会社の発展に貢献したい

## 仕事内容を教えてください

当社の仕事は大きく分けて、いちごをメインとしたハウス作業と穀類をメインとしたほ場作業の2つです。私は穀類を担当していて、主にトラクターを使用した作業やパソコンでは場管理を行っています。

## 入社のきっかけは何でしたか？

以前は接客業をしていて、土日の休みが取りにくい環境でした。子どもの就学をきっかけにプライベートを優先できる職場を探していたとき、トラクターのオペレーターを募集していると聞き、以前の職業とは全く違う環境での仕事に魅力を感じ入社しました。

## やりがいは何ですか？

ほ場を耕したときの畑の変化を見たときや、作物を収穫したときにやりがいを感じます。昨年初めて収穫に携わり、実際に採れた作物を目にしたとき、今までやっていた作業がここに繋がったのだと実感できました。

## 苦労したことはありますか？

会社の補助制度を利用して、入社してすぐに大型特殊免許と大型車免許を取得したのですが、トラクターが想像していたよりも大きく、最初は苦労しました。

## 社内の雰囲気はどうですか？

幅広い世代の方がいて、和気あいあいとした雰囲気の職場です。お互いの意見を言い合える環境が整っています。また、子どもの学校行事の際は、休みも取りやすく、子育てとの両立もできます。

## 休日の過ごし方は？

繁忙期でも日曜日は必ず休みのため、息子とゲームセンターに行ったり、公園で一緒に遊んだりして過ごしています。

## 今後の目標を教えてください

専門用語などを含め、日々の作業を確実に身につけていきたいです。また、会社の発展に力添えできるよう、1日でも早く先輩方に追いつき、農業の効率化に努めていきます。

## 会社プロフィール 株式会社 雄



【所在】  
物井 166 番地 1  
【会社設立】  
令和 4 年 2 月  
会社 HP



当社は米、麦、大豆、そばなどの穀物の生産・販売やいちごの生産・加工・販売を行っている会社です。「地の利を生かし、お米で元気に、いちごで笑顔に」を経営理念として、二宮尊徳翁の報徳の心を大切にし、豊かな大地に向き合い、持続可能で安心できる農業を通して、地域と人々の暮らしを豊かにすることを使命としています。

掲載希望の方は秘書広報課広報係へ  
TEL 83-8100 kouhou@city.moka.lg.jp

## あの日あそこ 第 445 回 川又 弘さん (長沼在住・81 歳) 美しい音色を 未来へ届けるために



私は昭和 19 年、長沼に長男として生まれました。自宅の周りには役場、郵便局、八幡宮、農協があり、当時の長沼村の中心地でした。家業は塩やたばこなどの専売品を扱うよろず屋と、農家を兼業していました。奉公人もいたため、総じて 10 人の大家族で生活していました。

昭和 35 年に真岡高校に入学し、学校祭のピアノ独奏で努力賞、音楽で学校長賞を受賞しました。大学時代はマンドリンクラブに入り、演奏旅行や春と秋の合宿、演奏会と、音楽に囲まれた学生時代を送りました。現在も、下館マンドリンクラブに所属し、地域の発表会や特別養護老人ホーム、小中学校など、さまざまな場所で演奏を続けています。



▲音楽の特別授業の講師として

昭和 42 年に、板橋郵便局に採用されました。その後板橋

## 消費生活センターメモ No.517

アパートで 1 人暮らしの独身男性を狙う  
不動産の悪質な勧誘が増えています



**事例** 突然、1 人暮らしのアパートに「ライフプランのアンケートに協力してほしい」と、業者が訪ねてきた。ドアを開けると業者が入ってきて、家に上がり込んだ。年収や勤務先を聞かれ、不動産投資を勧められた。断ったが、次回訪問の約束をしないと業者は帰らない。名刺を出さず、不審だ。

会社名を名乗らずに  
個人情報聞きだそうとする業者に注意



業者を部屋に入れると、マンション投資の勧誘のため預金額や源泉徴収票を求められ、何時間も居座られたといった相談が寄せられています。

北局、宇都宮局、宇都宮南局と異動しながら、長らく総務の仕事を行ってきました。長沼局に異動になってから、初めて窓口の仕事覚えることになり、当時はとても苦労しました。ありがたいことに地域の皆さんに支えられ、43 年間、郵政事業を勤めあげることができました。



▲郵便局員時代

退職後は、長沼八幡宮の神楽保存会として活動しています。きっかけはいまから 43 年前、長沼中学校が文部省から研究発表校に指定されたことです。県内の先生方に長沼の伝統の神楽を見ていただくというアイデアが挙がり、生徒たちに神楽を教え、面と装束を身に付けて、神楽の発表を行いました。

それ以降、長沼中学校ではいまも毎年学校祭で神楽を披露しています。この神楽は学校行事としてだけでなく、生徒たちと地域の関係作りや、伝統の後継者となる、大切な機会になっています。特に、昔神楽を教えた子どもたちが、大人になって神楽保存会の一員となり、いまは教える側に立っているのを見ると、とても感慨深いです。



▲長沼中学校の生徒たち

これからも、マンドリンの演奏を続けながら、音楽や舞を通して、子どもたちの成長を見守っていききたいと思います。

## トラブル回避ポイント

玄関を開けずに、ドア越しに対応する

突然やってきた知らない人は、家に入れないことが 1 番の対策です。きっぱり断りましょう。

会社名や担当者名、勧誘目的を告げない業者とは話をしない

アンケートや資産運用などを口実に、会社名や勧誘目的を告げずに勧誘することは禁止されています。

「帰ってくれ」と言っても相手が帰らない場合は警察へ連絡する

断ったにもかかわらず、しつこく勧誘を続け、長時間居座ることは禁止されています。また、午後 9 時～午前 8 時の訪問や電話勧誘も禁止されています。

【相談窓口】消費生活センター（くらし安全課内）  
TEL 0285-84-7830（ハナシテナヤミナシ）  
平日 9:00～12:00 13:00～16:00 ※相談料無料